



にじいろ通信

Rainbow color communication

一人はみんなのために みんなは一人のために



アザミ咲く霧島連山

CONTENTS

- P2 岩元総看護師長 あいさつ
- P3 新任医師の紹介(町元医師)(前村医師)
- P4・P5 対談シリーズ「当院の研修医プログラムの紹介」
(田澤医師) × (谷本医師) × (馬場師長)
- P6 部門紹介 ～ 透析・中材 禁煙外来紹介
- P7 第3回地域連携室学習会報告
- P8 2018年度 9月医師体制紹介



鹿児島医療生活協同組合
国分生協病院

総看護師長
あいさつ
message



地域で安心して暮らせる
ための看護の役割



総看護師長
岩元 ゆかり

当院は、1982年に鹿児島医療生協の地方病院として霧島市に開設されました。昨年11月の新築移転後は、霧島市の「まちなか病院」として、地域の皆さまが安心して医療を受けられ、その人らしく安心して暮らせる地域づくりをめざしています。今、国民の4人に1人は65歳以上です。高齢化による身体機能の低下に伴い、ちょっとした困りごとが増えていくと予想されます。

私たちの病院は、「ひとはみんなのために、みんなはひとりのために」を理念に掲げ、公的サービスで対応できない困ったことも助け合い、支え合う「おたがいさま活動」をはじめました。急性期より退院後の生活を想像し、ご本人・ご家族の不安に寄り添い、どのように支援すればよいか考えて関わること、そして地域で孤立しない関係づくりも含めて働きかけることが、看護の役割と考えております。そのためには、地域の皆さま方との連携をはかり、お互いの顔がみえる関係づくりに努めてまいりたいと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。

地域を守る医師を目指します

新任医師の紹介



町元利志
まちもとさとし

1. 出身大学

佐賀医科大学

2. 地域医療機関へ

慢性腎臓病、腎疾患、透析を主に担当します。

3. 挨拶文

今年の4月に鹿児島生協病院から当院に異動となりました。2013年度までは旧国分生協病院に勤務しておりましたが、病院は2017年11月に新築移転が終了しており、戻ってきたというよりは知らない病院で新たに勤務が開始になったという感じです。私が主に担当する透析室も新しくなりました。これからも地域の腎疾患・透析療法等の期待に応えられますよう励んで参ります。今後ともよろしくお願いいたします。



前村清美
まえむらきよみ

1. 出身大学

鹿児島大学

2. 地域医療機関へ

内科医として、外来、入院を中心に担当します。

3. 挨拶文

初めまして。4月から国分生協病院で勤務しています前村清美です。山口県出身で大学は鹿児島大学を卒業しました。鹿児島生協病院で初期研修を行い、初期研修後2年間は奄美中央病院で勤務しました。現在医師5年目、初めて国分で勤務することになりました。温泉が近くてとても嬉しいです。

現在は内科医として入院患者さんの担当と外来、また胃カメラ・大腸カメラ等の検査を行っています。地域の病院また介護関係の皆様にはご相談させて頂くことも多いかと思いますが、ご指導のほどどうぞよろしくお願い致します。

多職種協働、チーム医療を実現する 研修プログラムとなっています



対談シ

当院の研 修プログラ

家庭医療専門医

田澤 真吾



馬場：当院での研修医プログラムについて、教えてください。

田澤：当院は129床の地域医療を支える病院です。人工透析医療、心臓カテーテル治療などの高度な医療はもちろん、地域包括ケア病床を有し、在宅復帰の支援、在宅復帰後の訪問診療も行っています。その中で、当院は初期臨床研修のうち、内科研修、地域医療研修を担っています。

基幹病院の鹿児島生協病院の研修医はもちろん、他院からも研修医の受け入れを行っています。年間3人～7人程度の研修医が来ます。型にはめる研修ではなく、研修医のニーズを引き出し共にデザインする研修が特徴だと考えています。

馬場：研修医を育てるにあたっての工夫、コミュニケーション方法などがあれば教えてください。



カンファレンスの様子



研修医指導の様子

田澤：卒後1年目の研修医は新社会人としてのマナー、多職種とのコミュニケーションの取り方を学んでもらっています。具体的にはPHSをできるだけ使わず、直接出向いて相談をしたり、用件を伝えます。お互いの顔を知り、良好な人間関係を築き、業務・研修を円滑にするためです。医学的な処置・手技などは経験した直後に振り返りを行っています。研修医と共に毎日回診を行い、1日の終わりに振り返り（省察）を行います。日々の省察を習慣化し、研修を終えて指導医から離れた後も省察的实践家として自ら成長できる医師に育てたいと考えています。

馬場：当院で研修を受けることのメリットは何だと思いますか。

田澤：在宅、外来、入院、そしてまた在宅へと患者さんを診ていけるところが魅力です。また勤務している職員全員の顔と名前を覚えられる程度の規模で

様々な観点から、病院全体で
研修を見守ります

シリーズ

研修医の紹介

研修医
谷本 隆彦
5階病棟棟長
馬場 理恵



あることも、多職種協働、チーム医療を実現しやすい環境です。一例ですが、訪問看護師に1日密着、ケアマネージャーに1日密着など、多職種の業務を知るための研修も行っています。特に地域医療研修の場合は、医療生協の特徴を生かし、地域住民とつくる医療活動・保健予防活動を学びます。具体的には地域住民に向けて医療講演会の講師をしたり、住民による自主的な健康チェックの援助を行ったりします。近年では身体的な問題だけでなく、健康の社会的決定要因（SDH）に関わる複雑な事例が多くなり、これに介入できる人材の育成が必要とされています。当院は鹿児島県内のプログラムでは初となる家庭医療専門医を輩出した実績があり、SDHについて造詣の深い指導医も多く在籍しています。

馬場：最後に、谷本先生、当院での研修を受けての感想をお願いします。



往診研修の様子



研修報告会の様子

谷本：まず、地域だから症例が少ないということはありません。内科に限れば十分な症例を経験できると感じます。研修医は担当医ではありながら主治医として治療方針を考えて実践していくことができます。もちろん上級医には何でも相談しやすい環境も整っており、指導熱心な先生が多いのも魅力でした。在宅医療にも力を入れているのが特徴で希望すれば往診に同行したり、訪問看護、ケアマネなど他職種の業務について学ぶ機会も作れます。病棟でも看護師を始め他の職種との連携が強いと感じます。チーム医療では医師以外の業務に理解を持つことも必要であり、病院の規模的にチーム医療を学ぶのに適したフィールドであると思いました。ぜひ、今後医師を目指す人たちには、国分生協病院での研修を受けてほしいと思います。

透析・中材



当部署は、透析と中材という2つの部門を、臨床工学技士6名、看護師19名、看護助手1名の体制で一つの部署として運用しています。透析では、現在、入院・外来透析患者あわせて約100名と、腹膜透析患者30名の管理（うち2名は訪問診療）を行っています。腹膜透析については、導入期から病棟看護師と連携をとり、在宅療養に向けての準備を行い外来通院につなげています。また、定期的にフットケアや透析教育、シャント造影やシャントエコーなどを行い、患者様が安心して継続的に治療が受けられるように心掛けています。そして、急性期病院として、持続緩徐式血液濾過法や吸着式血液浄化法など対応も行っています。また、中材では、手術・中材業務や、内視鏡検査・心臓カテーテル検査など多岐にわたり観血的検査や治療が行われるため、安全にそして患者様が安心できるためのサポートを行っています。当院の場合、特に腎不全や循環器疾患を合併している方の紹介検査等が多いため、今後も地域との連携を密にとっていきたいと思っています。



禁煙外来 ～ぜひ、多くの患者を御紹介下さい～



全国で喫煙者は軽減傾向にありますが、喫煙者の死亡率は年々増加傾向にあり、心筋梗塞のリスク、肺癌の患者の増加にも喫煙が大きく関連しています。

そこで今回、国分生協病院では2017年11月の新築移転と同時に禁煙外来を開始し、現在16名が受診し、7名が禁煙に成功しています。

毎週火曜日午後14時より指導、診察を行っており、12週で5回の受診が必要となります。

当院では「リセット禁煙」（心を開いてタバコに関する気持ちを連然的に起こしていく、心で感じる禁煙方法）の指導を行っており、初回受診時に、ゆっくりと時間をかけて患者へ禁煙指導を行っています。保険診療の対象となる場合が多く、患者も安心して指導を受けることが出来ています。

私達医療生協では、「禁煙外来」患者を増加させ、地域の健康を守る活動を更に進めたいと考えていますので、ぜひ、多くの御紹介頂ければと思います。



第3回地域連携学習会

～ここは知っておきたい腎不全・透析患者のケア～

2018年7月25日（水）に、第3回地域連携学習会が開催されました。霧島・始良地域を中心に6医療機関10施設から、計56名の方々に参加して頂きました。

今回の内容としては、「腎不全・透析患者」をテーマに、①「怖くはない腎不全、透析患者について」（吉峯医師）、②「看護師で行うCAPD(腹膜透析)管理」（森看護師）、③「腎不全・透析患者のための食事療法について」（宮原栄養士長）に関して、それぞれ講演を行いました。

透析患者に対する怖さの払拭や、実技を交えたCAPDの管理方法、献立実例を交えた「無理のない栄養指導」等について分かりやすく講演させて頂きました。

参加者からは、「実技があったことで、私達スタッフの「怖い」が解消された」「在宅でのCAPDに対しての見方が変わった」等の好評な声を頂くことが出来ました。

今回の学習会をきっかけに、地域の中でも増加する透析患者が、在宅や施設入所など希望する場所で生活できるように、更なる連携を深めていきたいと思います。

今後も、地域の医療機関、施設等からニーズに沿った学習会を提起的に開催し、地域の疑問を解決出来る、そして信頼されるような医療機関を目指していきます。

引き続き、当院との連携の程よろしくお願い致します。



56名の参加となりました



吉峯医師による講演



COPD管理 実技

6 医療機関
10 施設から
計56名の方々に
参加して頂きました！

2018 年度医師体制のお知らせ

国分生協病院 病院長 山下義仁

拝啓、時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、当院との医療連携につきましては格段のご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、2018 年 9 月の医師体制が決まりましたので、お知らせさせて頂きたいと思います。

昨年の新病院移転、医師異動に伴い体制の変更等、慌ただしい日々ではありますが、引き続きよりよい医療を患者、地域の皆様に提供できるようにと考えております。今後とも、御紹介等も含めて、当院との連携の程よろしくお願いいたします。

敬 具

2018年 9月外来体制表 国分生協病院

		月	火	水	木	金	土
午前	一般内科 (8:45~12:00)	榎田祐一	吉 見	榎田祐一	榎田祐一	吉 見	榎田祐一
	専門 外来 (8:45~ 11:00)	循環器	吉 見	柴 田	吉 見		吉見(第3)
		呼吸器	山 下	榎田祐一	隈 元	榎田祐一	山下(第1・3・5)
		消化器・肝臓		小坂元	長 谷	長 谷	長谷(第2・4)
		腎・膠原病	町 元	吉 峯	町 元		
		神経内科			高 畑		
	外 科 (9:30~12:00)			税 所		税 所	
	小児科 (9:00~12:00)	酒 井	酒 井	酒 井	酒 井	【一般+特診】 森田(第1・2・3・5) 玉江(第4)	交 替 2週目休診
午後	内 科	予約のみ 14:00~16:00		山下(禁煙外来)			
		15:00~17:00	榎田祐一	榎田祐一	久 保	久 保	
		予約のみ 15:00~17:00		大久保	高畑(神経内科) 大久保	山 下	
		17:00~18:30	交 替	交 替	交 替	交 替	
	小児科	予約のみ 予防接種/健診 14:00~16:00		(14:00~16:00) 酒井 ※予約制:予防接種+健診	(14:00~15:30) 酒井 ※予約制:予防接種のみ	(14:00~16:00) 予約のみ 特診(第1・2・3・5) →森田 腎特診(第4)→玉江 ※(森田のみ14:00~ 17:30)	
		16:00~18:30 (金曜は予約のみ)	(16:00~18:30) 酒井 (一般+予約)		(16:00~18:30) 酒井 (一般+予約)		

※内科の専門外来に関しては予約制となっています。予約がない場合は一般内科外来担当医で対応させていただきます。

※緊急紹介、入院が必要な方の紹介に関しては、上記体制に限らないので、お電話をお願いします。

※C K Dネットワークに関する紹介は、腎臓内科担当医の予約を取って頂くよう、お願いします。

※火曜日の14時より禁煙外来を新設しました。予約制になりますので、ご希望の方はご連絡をお願いします。

住 所 〒899-4332 霧島市国分中央 3 丁目38-14

連絡先 TEL 0995-45-4806 FAX 0995-45-4938



鹿児島医療生活協同組合
国分生協病院

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3丁目38-14
電話 (0995) 45-4806 FAX (0995) 45-4938
<http://kokubu-seikyo.jp/>